

アスレティックトレーナー概論

科目ナンバリング SPS-106
選択 2単位

本郷 仁吾

1. 授業の概要(ねらい)

スポーツ環境におけるアスレティックトレーナーの役割とその業務を具体的に示し、日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成の起源や歴史的背景、趣旨、設立に至った背景および諸外国の状況を理解し、アスレティックトレーナーの組織的な活動に触れ、その位置づけや運営管理について学び、コーチ、スポーツドクターなどさまざまな分野の専門家といかに連携をとって、選手をサポートしていくかなどアスレティックトレーナーが現場で活動するうえで必要な知識を養うとともに、社会的秩序や倫理観を身につける。

なお、この科目は、アスレティックトレーナーを目指す者だけではなく、当科で取得できる各種運動指導資格取得を目指す者にとっては、知識を深めるためにも重要な科目である。また、本学で行われているアスレティックトレーナー活動を報告する。

2. 授業の到達目標

- ・アスレティックトレーナーとは何かを理解できる。
- ・本学科で取得可能な資格についての理解できる。
- ・本学科でのアスレティックトレーナー資格取得プランの理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

課題(20%)、定期試験(80%)を中心に総合的に評価を行う

4. 教科書・参考文献

参考文献

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』

5. 準備学修の内容

前回授業の内容を復習しておくこと

6. その他履修上の注意事項

アスレティックトレーナーに関する知識はもちろん、幅広く運動指導を行う資格について解説をします。特に、本学科で取得可能な資格について詳細に説明します。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション |
| 【第2回】 | アスレティックトレーナーの歴史的背景 |
| 【第3回】 | 諸外国のアスレティックトレーナー |
| 【第4回】 | アスレティックトレーナーの任務と役割 |
| 【第5回】 | スポーツ外傷・障害の予防 |
| 【第6回】 | スポーツ現場における救急処置 |
| 【第7回】 | コンディショニング |
| 【第8回】 | アスレティックリハビリテーション |
| 【第9回】 | 測定と評価 |
| 【第10回】 | 医科学スタッフとの連携・協力 |
| 【第11回】 | 組織の運営と管理 |
| 【第12回】 | アスレティックトレーナーの倫理 |
| 【第13回】 | 日本スポーツ協会について |
| 【第14回】 | 本学の資格と資格取得方法 |
| 【第15回】 | 総論 |